

2020年7月14日

各 位

会 社 名 株式会社ネクスグループ  
 代 表 者 名 代表取締役社長 秋山 司  
 ( J A S D A Q ・ コード 6634 )  
 問 合 せ 先  
 役 職 ・ 氏 名 代表取締役副社長 石原 直樹  
 電 話 03-5766-9870

## 新型コロナウイルス感染症の影響による連結業績予想修正に関するお知らせ

この度の新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々には心よりお見舞い申し上げます。また、医療従事者をはじめとする感染拡大の抑制にご尽力されている皆さまに深く感謝申し上げます。

当社は、新型コロナウイルス感染症の拡大による当社グループへの影響をふまえ、2020年1月17日に公表した連結業績予想を未定とすることといたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正 (2019年12月1日～2020年11月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 9,321	百万円 92	百万円 93	百万円 9	円 銭 0.63
今回修正予想 (B)	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 ( % )	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期連結実績 (2019年11月期)	9,670	△633	△678	△1,272	△85.40

#### 2. 連結業績予想修正の理由

2020年11月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が解除されましたが、経済活動の停滞や個人消費の動向等に加えて、いまだ世界中で感染者数が拡大していることから先行き不透明な状況であります。

このような環境の中、インターネット旅行事業では、2月以降に申込数の減少とキャンセルが発生し、年間を通して一番の売上を予定していたゴールデンウィークを含む当該第2四半期の売上が大幅

に減少しております。

また、ブランドリテールプラットフォーム事業の中でも、店舗事業においては、3月の営業自粛要請による時短営業及び来店客数減少により売上が減少し、加えて4月7日の緊急事態宣言により株式会社チチカカの運営する72店舗（全店舗数の80%）が休業となり、この結果、週間売上が前年比で最大10%未満まで減少いたしました。

対して、IoT関連事業では、今般の新型コロナウイルス感染症対策として、在宅勤務などのテレワークの導入企業の増加に伴い通信端末の販売が伸長しており、売上・利益ともに大きく増加しております。

そして、ブランドリテールプラットフォーム事業全体では、前年度に実施した経費削減の各取り組みによる販管費の圧縮効果や、巣ごもり需要対策としてオンライン事業を強化した結果、オンライン店舗売上は計画比150%と伸長しております。

今後の展望につきましては、IoT関連事業では、文部科学省が2019年12月に発表した「GIGAスクール構想」\*<sup>1</sup>に伴う、通信機器の需要の取り込みに向け、新たなパッケージサービスの開発や連携を行ってまいります。

\*<sup>1</sup> 「GIGAスクール構想」とは、国内において、子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現に向け、まずは、令和時代のスタンダードとして1人1台端末環境と、高速大容量の通信ネットワーク、教育ソフトウェア等を一体的に整備するという文部科学省の取り組み

インターネット旅行事業については、同事業のビジネスモデル（旅行の提案・プランニングを旅のエキスパートであるSOHO型の旅行コンサルタントであるトラベルコンシェルジュが行い、旅行が成約となった場合に、その料金の一部をコンシェルジュに支払う）の特性として、約400名のトラベルコンシェルジュを管理するスタッフが数名在籍する程度となっております。また、旅行商品の販売はインターネットを通して行い、リアル店舗は有さないため固定費の割合は年間総費用の10%強と非常に小さく、同業他社と比較すると損益への影響は限定的です。加えて、国内旅行需要喚起策である「GoToトラベルキャンペーン」を積極的に活用し、夏休み、シルバーウィークの需要の取り込みを積極的に行っております。

ブランドリテールプラットフォーム事業につきましては、5月末の緊急事態宣言明けより需要が戻ってきており、6月には創業以来初めてとなる創業祭イベントを行うなど需要喚起を行ってまいります。

しかしながら、国内外において、いまだ新型コロナウイルスの感染者数にも大きな増減があるため、新型コロナウイルス収束の目処は立っておらず、予断を許さない状況であります。

これらをふまえて、業績予想数値に対する新型コロナウイルス感染症の影響など現在の経営環境等の変化を鑑みると、今後における新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響額については、連結業績数値として緊急事態宣言による売上の減少は予想されるものの、今後の取り組みを見込んだ正確な予測を立てることが非常に難しいと言えます。

よって、現時点では適正かつ合理的に見積もることが困難なため、2020年1月17日に公表した業績予想の数値については一旦取り下げ、未定とさせていただきます。なお、新たな業績予想につきましては、適正かつ合理的な算定が可能になった時点で速やかに開示してまいります。

以上